



題字 井口 文章  
再刊 第355号  
印刷・発行  
錦城高等学校新聞委員会  
編集室 2021

みんなでつくる  
錦城高校新聞

一面：新入生歓迎会が開催されました  
熱く盛り上がった軽音楽部ライブ！  
二面：編集部に興味のある人は  
新校舎7階奥の生徒会室へ！

# 自分だけの「青春」を探せ

## 新入生歓迎会開催

4月9日(金)、第1体育館で新入生歓迎会が行われた。13の委員会と37の部活動、同好会がそれぞれの活動を紹介します。新入生は熱心に話を聞いていた。今号ではその様子をお届けする。

### 個性が溢れたアピール合戦

音楽クラスから選出された生徒と56回生の伴奏者が集まり撮影したものだ。例年と異なり、新型コロナウイルス感染防止のため実演せずマスク着用の上で事前に撮影した。続いて部活動紹介の第1部では、映画研究部や合気道同好会などが活動の様子を映像で紹介した。放送部は実際のトークの中で、機材に関わることでできる等の魅力を伝えた。



新入生の前でアタックシュートを披露する男子バレーボール部の部員たち

## 軽音部員だけの熱きライブ



バンドメンバーと会場が一体となる

4月4日(日)、ホールにて軽音楽部による「Spring Live」が開催された。新型コロナウイルス対策のため出演・観客を軽音楽部のみに制限。RADWIMPSの『054101(ん)』KAN A-BOONの『ないものねだり』ヨルシカの『ただ君に晴れ』など様々な爽快感のあるリズムの曲が演奏された。観客はそれと一体となって手を振っていた。「コロナ禍で練習は貴重な機会だったので本番に向けて全力で頑張りました」と話すのは部長の高橋京佑さん(3年)。副部長の山岸暖さん(3年)は「観客を呼ばなかったのは感染対策のためです。やはり色々制限がある中で人を呼びすぎるのは厳しいと思います。また、日曜日のライブだったため、呼んでも来人数が少ないのではないかと参加できるのぜひ来てくださ」と錦城生に向けて呼びかけた。



映像で生物の様子を紹介する生物部

第3部では、実演による部活動紹介がされた。サッカー部は、ジョークを交えながら「名前を早く覚えてもらえるように白いTシャツに名前を書く」「1年生は集合時間の30分前に集まる」といった部活動のルールを説明した。空手道部は男女3人ずつ、女子は燕飛、男子は慈恩という演技を見せ、観客を魅了。ギター同好会は、優里の『ドライフラワー』を披露し、生徒の興味を惹きつけた。室内楽部は各楽器のパートリーダーが『情熱大陸』を演奏。最後に吹奏楽部が『クラリネット7重奏 風影』のクラリネット奏者のために『演奏し、新入生歓迎会は幕を閉じた。

## 文芸部の部誌が完成しました！

文芸部部誌『天舞』の第58号が完成しました！『天舞』は7階文芸部室前と図書室に置いてあります。興味のある方はぜひ手に取ってみてください。



## 新入生歓迎会を終えた1年生

新入生歓迎会を終えた1年生を取材した。尾崎樂さん(1年)は「中学校にはなかった部活もあり、魅力を感じました」と話す。また、入りたい部活に吹奏楽部を挙げ、中学校からの経験を活かして新しい事に挑戦して、自分の技術を高めていきたいと意気込んでいる。高城菜々美さん(1年)は「川野邊莉子さん(1年)にも話を聞くと、柔道部と体操部の雰囲気は良く、楽しそうだと思います」と語る。さらに、高城さんはバドミントン部、川野邊さんはダンス部に興味があると話し「部活に入ったら、勉強と両立させて大会等で入賞できるように頑張りたいです」と口を揃えた。

## コロナ長期化でパーティション新しく

新型コロナウイルスの飛沫感染防止を目的として、食堂と1階のラーニングセンター(図書室内)に設置されていたパーティションが春休み中に新しいもの変わった。変更した理由について事務員の古川紗千さんは「以前は用務員の方に急遽作成していただいたパーティションでしたが、コロナが長期化していることもあり、耐久性のあるものに変えることにしました」と話した。

ラーニングセンター 以前よりも頑丈なものに変更された図書室のラーニングセンターのパーティション。「集中力を高められるように以前と同じ不透明のものにしました」と古川さんは話す。素材は図書館や学校で導入されることの多いアクリル板。また図書室入口近くの長机4人掛け機のパーティションは取り外せようになっているが、自部室の3つの長機のパーティションは机と接着し、コロナ後も設置したままにする予定だそう。

## 食堂

食堂のパーティションは不透明のものから透明のものに変更。古川さんは「昨年度は食堂の利用者が少なかったため、もっと生徒の皆さんに利用してほしいという思いから、開放感がある透明のものを選びました」と話す。新しいパーティションはポリカーボネート製で、パーティションとして使われることの多いアクリル板より耐久性に優れているという。また食堂は清潔さを保つ目的でアルコール消毒を頻繁に行うため、アルコールにも強いものにしたそうだ。

Bさん(2年)は、昨年は感染防止のため、友人と向かい合って食べることがほとんどなかったと振り返る。しかしパーティションが透明になったことで「友達と食事するときに会話しやすいですし、とても良かったです」と語った。(烏・甘)

## むらさき草

私は4月1日生まれの子供です。早生まれとは1月1日から4月1日の間に生まれた人のことだ。錦城生の中にも早生まれの人がいると思うが「早生まれは勉強や運動において不利だ」と感じたことはないだろうか。「早生まれが不利」と考えられる理由には、遅生まれより就学までの時間が短いため一般的に言われる。もちろん成長には個人差があり、早生まれが遅生まれより能力として劣っているわけではない。しかし「早生まれが不利」であることを示す統計もある。東京大学の教授らが発表した論文では、入学した高校の偏差値が生まれ月により最大で4.5異なることが挙げられた(山口慎太郎・伊藤寛武・中村牧子、2020「生まれ月がスキルやスキル形成に及ぼす影響」)。「早生まれが不利」と意識するようになったのは、中学生のときだった。勉強や部活など行き詰まることも多くなり「もし4月2日生まれたら、もっとうまくできたはず」と言い訳をしていた。だが、錦城高校新聞委員会のある取材がきっかけでこの「失敗を早生まれのせいにする悪癖」を断つことができた。昨年の夏に、演劇で全国大会に出場した福島県の高橋生を取材した時のことである。その高橋は東日本大震災の影響を大きく受けたと聞いていたが、舞台では本当に部員たちが生き生きと活動していた。取材の中で聞いた「震災を通じて成長した姿を見てほしい」という言葉が心に刺さった。「自分ならもしあの震災が無かったら、もっとうまくできたはず」と、震災を言い訳として利用することしかできなかったかもしれない。取材を通して、困難を経験しても自分の成長に繋げようとする姿勢に惹かれた。人それぞれ、自分ではどうしようもないことを抱えていると思う。それを悔やむだけで終わるのはつまらない。早生まれも自分の糧にしたい。

初心者大歓迎!! 経験者もちろん大歓迎!

**ソフトボール部**

活動日時: 月・火・水・金・土 (週6日、木曜off)

活動場所: 月・火→テニスコート 水・金→バレーコート

部員: 男子12人 女子14人 内コネメンバー1人 計26人

初心者、コネメンバー大歓迎

気軽な体験にきて下さい!! 誰かを紹介して下さい

活動日時: 月・火・水・金・土 (週6日、木曜off)

活動場所: 月・火→テニスコート 水・金→バレーコート

部員: 男子12人 女子14人 内コネメンバー1人 計26人

初心者、コネメンバー大歓迎

気軽な体験にきて下さい!! 誰かを紹介して下さい

**dance club**

新入生歓迎コンサート  
13日,20日(火)15:45~  
多目的ホールにて開催

2階多目的ホールで活動中

**卓球部**

定休日: (水)

第1体育館: (月)・(火)・(日)

第2体育館: (木)・(金)・(土)

初心者・女子問わず大歓迎! 練習OK!

**ワンダフルカメラ部**

山に登りたい人! 自然が好きなら!!

場所: 部室1階

Wonder Voyage

**ハンドボール部**

活動日時: 月・火・水・金・土 (週6日、木曜off)

活動場所: 月・火→テニスコート 水・金→バレーコート

部員: 男子12人 女子14人 内コネメンバー1人 計26人

初心者、コネメンバー大歓迎

気軽な体験にきて下さい!! 誰かを紹介して下さい

# 必見! 新聞づくりのいろは

## 一緒に新聞づくりませんか?

編集室へようこそ!

錦城高校新聞は、錦城高校新聞委員会編集室が年間30号ほど発行している学校新聞です。今回は、その中身をご紹介いたします!

新聞委員会は、実際に新聞を製作する有志の「編集委員」と、各クラスから一名以上選出されたアンケーターや新聞の配布をする「一般委員」に分かれています。新聞の内容は、錦城祭や球技大会といった行事や大会で好成績を収めた部活動など、錦城の中の出来事や生徒の声を中心とします。昨年度の休校期間中は、Classi上でオンライン新聞を発行。錦城生の思いを新聞に残すことを目標に、休校中の錦城生の過ごし方などを特集しました。

大会でも好成績を収めています。「文化部のインターハイ」と呼ばれる全国高等学校総合文化祭に13年連続で出場し、全国ベスト12相当の優秀賞を4年連続で受賞しました。今年度のおみやげも総文にも出場が決まっています。

さて、ここまでの紹介は、新聞づくりの要素のほんの一部です。編集部の醍醐味は、錦城の歴史や生徒の声を、自分の手で新聞として残せることにあります。新入生のみならず、一緒に錦城の歴史のページを刻んでみませんか?

発行までの日程を細かく決定します



基本的に記事担当と写真担当の二人一組で取材します



パソコン上で記事を書き、編集を行います



毎回約1600部印刷します



その号の責任者2人を中心に、新聞で取り上げる記事の内容やレイアウト、取材担当者、発行日などを決める編集会議を開きます。また、新聞を発行日までに仕上げられるよう、記事の締め切りを設定するなどの具体的な計画も立てます。紙面作りを計画的に進めるための重要な作業です。

記事の内容が決まると、取材相手に連絡を取り、取材をします。事前にある程度、記事の方向性や質問事項を考えておきますが、取材の流れに応じて臨機応変に対応することも必要です。取材は基本的に取材担当とカメラ担当の2人1組で行い、取材メモやカメラ、腕章が活躍します。

取材が終わったら、取材した内容をもとに取材担当は記事を書き、カメラ担当は撮った写真の選別を行います。取材担当は編集担当が事前に指定した文字数に収まるように記事を書きます。

完成した記事と写真を文書作成ソフトで作ったテンプレート上にレイアウトします。編集担当が記事の字数や写真の向き、大きさを調整します。このときに編集委員全員で見出しを考え、校閲作業も行います。

紙面の印刷は業者に任せず、編集委員が行っています。生徒会印刷室のプリンターで全校生徒と教職員合わせて約1600部を印刷し、クラスの人数ごとに分け、各クラスに届けます。届けられた新聞は、一般委員が生徒に配布します。

## 再刊20年新聞の歴史を辿る

今年度で錦城高校新聞は再刊20年を迎える。その歴史について過去に新聞委員会の顧問でいらした松井先生(現在は定年退職されている)にオンラインでお話を伺った。

再刊された。再刊後しばらくは、ワープロで打ち込んだ記事を書き、それを切り貼りして原稿を職員の印刷機で印刷していた。その後、パソコンの得意な部員が入部してきたことをきっかけに現在のパソコン上で編集する体制に完全移行。食堂の従業員さんや生徒の保護者からパソコンを提供してもらった。こうして伝統や技術を受け継ぎ、錦城高校新聞は現在に至っている。



過去の切り貼りしていた新聞の原稿

2000年の春、松井先生が有志を集め錦城高校新聞を再刊させた。再刊後しばらくは、ワープロで打ち込んだ記事を書き、それを切り貼りして原稿を職員の印刷機で印刷していた。その後、パソコンの得意な部員が入部してきたことをきっかけに現在のパソコン上で編集する体制に完全移行。食堂の従業員さんや生徒の保護者からパソコンを提供してもらった。こうして伝統や技術を受け継ぎ、錦城高校新聞は現在に至っている。

### 1 企画

### 2 取材

### 3 記事

### 4 編集

### 5 印刷・配布

## 記事の個性を引き出す筆名

錦城高校新聞では、カコミの最後の一筆名を入れて開作りで見習いたい。ペンネームで、学年ごとにテーマを決めている錦城高校新聞独自のルールです。現在の3年生は「鳥シリーズ」、2年生は「お茶シリーズ」、1年生は「紅シリーズ」です。ここでは筆名とその漢字1字に決めた理由を紹介します。

【鷲】この字を初めて見たとき、字の形がとても綺麗だと感じた。また、鳴き声が美しく「ささめ」という別名もある。この字の形が好きだから、決めることにしました。

【櫻】正倉院の見学に行ったときに買った桜茶が偶然家にあったから。

【抹茶】抹茶が好きだから。お茶かどうかは知りません。

【麦】自分が一番多く飲むお茶が麦茶だったから。言葉の響きが良い。

新聞委員会編集室に入ってから、自分ならではの筆名を考えてみよう。



錦城の先生はもちろん、教育実習生や講演会等の講師の方、大学の先生などに未来の進路を決めていくコツやおススメの勉強法を聞いたり、昨年度から始まった「大学入試共通テスト」や新型コロナウイルスの影響で注目されている「オンライン」を利用した入試を特集したりするコーナーです。

現在様々な分野で活躍する錦城の卒業生を特集する企画です。最近では「宇宙飛行士になって、宇宙に桜を植える」ために現在フランスで活躍する卒業生を取材しました。過去には、俳優の吉沢悠さんと女流棋士の上田初美さん、「シルク・ドゥ・ソレイユ」の一員である池田一葉さんなどを取材しました。

## 紙面を彩る連載企画

昨年11月から始まった、小平市内で開催された展示や行事などを紹介する新コーナー。第1回目となる前回は、小平市立中央図書館にて行われた発達障がいに関する展示について取り上げました。今後はさらに多くの展示を特集していきます。お楽しみに!

「部活以外の自分の得意なこと」を活かし、錦城の外でも活躍する錦城生を取り上げる企画です。いつでも大募集なので取材してほしい!という生徒は近くの編集委員または新校舎7階の編集室まで!

これまで錦城高校新聞では、男女別名簿や男性を優遇したとされる医学部不正入試などを特集してきました。そして、昨年11月に発行した346号から、錦城高校新聞における男女の敬称を「さん」に統一しました!今後は現在協議が進んでいるスラックスの導入についても取り上げていく予定です。

4月16日(金)に行われる、1年生の学年運動会の取材を手伝ってくれる1年生を募集します! カメラ・記事に自信がない人でも大丈夫!先輩たちが優しく教えます。興味のある人は、4月14日(水)の放課後、新校舎7階奥の生徒会室(編集室)まで来てください。お待ちしております。

ギター部  
メンバー  
3年生: 14人  
2年生: 12人  
2年・3年・3年生の活動は22日まで  
2021年・2022年・2023年  
興味のある人はぜひ  
2022年まで!!



茶道同好会  
活動場所: 6階和室  
活動日時: 木、金

7年27期同好会です。  
活動場所: 6階調理室  
月1回活動の中心部活です。  
興味のある方は 渡辺文先生!!

バドミントン部  
活動日時: 月、金  
活動場所は 6階調理室

GIRLS HARD TENNIS  
活動場所  
・校内Aコート(人工芝)  
・校外Aコート(土)  
活動日  
土・日・木・金・日(週5!!)  
現在、2年生10人が活動しています!  
(3年生は11人、2年生は14人です)  
初心者も大歓迎です!  
明るく楽しい雰囲気の部活を  
目指しています。ぜひ興味のある方、  
ぜひ!見学・体験に来てほしい!!  
待っています!!